

平成29年度

# 事業計画書

自 平成29年 4月 1日  
至 平成30年 3月31日

一般社団法人 保険者機能を推進する会

## 1. 事業方針

本会の会員数は正会員と準会員を合わせて93となり、平成28年度に目標としていた90を超えて順調に増えてきている。これは保険者機能の推進を旗印にした本会の活動に対する認知度が高まっている結果であると考えられる。健保組合にとっては、被保険者の適用、保険料の設定・徴収、保険給付、審査支払いという四つの基本的な役割・機能に加えて、データヘルス計画に基づく保健事業等を通じた加入者の健康管理、さらには地域医療構想策定への参画等を通じた医療提供側への働きかけといった役割・機能が重要になってきている。こうした保険者機能への期待がますます大きくなっている中で、本会としては地に足の着いた事実とデータにもとづく研究・研鑽を着実に進めていきたいと考えている。

そのため、本会の事業の中心となる研究会活動については、従来運営していた9つの研究会に加えて、会員からの希望が多かった「ポピュレーションアプローチ研究会」を新設し、平成29年度からは10の研究会による活動を展開していく。

また、平成27年度から開始した常務理事・事務長クラス向けの事業である「医療保険制度ゼミナール」の運営体制をさらに強化し、引き続き健保関係者の医療政策に対する知識や関心の底上げを図るべく、年4回の開催とする。健保の実務担当者向けのセミナーである「基礎知識研修会」は年2回の開催とし、各担当者の参考になる内容を積極的に提供していく。常務理事向けに実施している「常務理事ゼミナール」は、引き続き常務理事どうしの気の置けない意見交換の場として、原則毎月1回午前中に開催することとする。

さらに、これまでに様々なテーマを掲げて5回開催し、本年で第6回となる「保険者機能推進全国大会」を例年どおり11月に開催する。今回も本会が取り組むべき課題をテーマとして取り上げて本会活動の活性化を図るとともに、保険者機能の有効性を広く対外的にアピールする場としていきたいと考えている。

なお、柔整療養費の不正請求や違法広告の問題など、行政に訴える必要のある問題については、地区方面会や連合会・健保連本部と緊密な連携を図りながら地方厚生局や厚生労働省に対して積極的に事実とデータにもとづく問題提起を行っていく。

## 2. 事業計画概要

### 2.1 研究会活動

平成29年度に設置する研究会は下記の表のとおりとする。

#### 平成29年度 設置研究会

研 究 会 名	担 当 理 事
レセプト・健診データ分析研究会 Conference on Health Data Analysis	内田好宣 ・ 藤代勉 (注)
健診事業のあり方研究会 Conference on Smart Choice of Health Examination	武内俊明 ・ 太田芳文
特定保健指導応用研究会 Conference on Implementation of Specific Health Guidance and its practical applications	児玉成志
女性の健康研究会 Conference on Women's Health Care	鶴飼雅信
シニアの健康研究会 Conference on Elderly Persons' Health Care	青山尚弘
たばこ対策研究会 Conference on Tobacco Control	宇治野進
ポピュレーションアプローチ研究会 Conference on Population Approach	飯住宗広
柔整問題研究会 Conference on Inappropriate Insurance Claims from Judo Therapists	長嶺秀一
くすり研究会 Conference on Medicines	篠原正泰 ・ 宇田川昭彦
扶養認定基準研究会 Conference on Conditions of Registration for Dependents	木村(沼越)園子

注：担当理事 藤代勉氏は、第3号議案で選任されたことを前提とする。

### 2.1.1 参加者の募集方法

従前より、既に研究会に参加している方については、参加研究会のリーダーに研究会からの退会を申し出ない限りは自動的に翌年度も同じ研究会のメンバーに登録されることとしており、平成29年度も下記のとおり同じ要領で翌年度参加者の登録を行うこととする。

新規参加者： 4月12日（水）締切で事務局が研究会新規参加者の募集を行う。  
なお、研究会の新規参加者募集要項には、応募される方の目安になるように各研究会への参加に適していると想定される職務担当経験や実務経験年数を記載することとするが、その想定に合わない初心者の参加を妨げることは原則として行わない。

既存参加者： 研究会から退会する場合は4月12日（水）までに所属研究会のリーダーへ退会を申し出る。（リーダーは4月14日（金）までに退会者を除外した既存参加者リストを事務局へ提出する。）

\* 健保組合としては、既に参加している研究会であっても健保組合内における人事ローテーション等により参加する個人が平成28年度の参加者から変わった場合には、新規参加者として事務局の研究会新規参加者募集に応募していただくこととする。

参加者確定： 4月12日までの新規参加者登録と14日までの研究会リーダーからの連絡に基づき平成29年度研究会の参加者リストを確定させる。

### 2.1.2 研究会事業費

平成29年度は総額で60万円の使用枠を割り当てることとする。使用枠の割り当ては、各研究会に同額を割り当てる平等割を300千円、参加者確定の際に事務局で取りまとめた参加者リストの人数比によって割り当てる人数割を300千円とする。

## 2.2 医療保険制度ゼミナール

従前の活動を基本的に継続して、健保関係者の医療政策に対する知識や関心の底上げを図る。そのため、医療保険制度ゼミナールの運営委員会を設置し、本会の理事を含む会員健保職員から成る委員を増員する。

## 2.3 基礎知識研修会

平成29年度の基礎知識研修会は、各健保の実務担当者に必要な知識の普及

を目的として、外部講師の招聘などにより年2回開催することとする。

## 2.4 常務理事ゼミナール

従前どおり常務理事を対象に、原則として毎月1回、午前10時から正午までの午前中に開催することとする。

## 2.5 第6回保険者機能推進全国大会の開催

第6回保険者機能推進全国大会を平成29年11月27日(月)に星陵会館(千代田区永田町2-16-2)にて開催する。例年どおり健康保険組合全国大会(11月28日開催見込)の前日に開催することにより、本会活動の活性化を図るとともに保険者機能の有効性を広く対外的にアピールする。

## 2.6 組織力強化

平成29年度は、年度末の会員数100を目標に理事会を中心に組織的な勧誘活動を継続する。なお、会員数2となっている準会員について、その対象範囲を再検討したうえで必要に応じて資格要件を見直す。

また、本会の公式ホームページと Facebook 上に開設済の本会ページ、本会 Twitter との連携を強化するとともに、アクセス数を増加させる方策について検討する。Facebook 版ポラーノの広場の活性化については引き続き検討を行う。

## 2.7 外部機関との協力関係の推進

健康保険組合連合会本部、各都道府県連合会、関係官公庁、本会と友好関係にある学会、マスコミ、事業者の団体等との良好なチャンネルの維持、開拓を目指す。

## 2.8 事務所休業期間

平成29年度の事務所休業期間は次のとおりとする。

春季休業	夏季休業	秋季休業	冬季休業
4月29日～5月7日	8月5日～8月16日	9月16日～9月24日	12月23日～1月4日

### 3. 事業実施基本スケジュール

時 期	期	行 事
第1四半期	4月	第13回医療保険制度ゼミナール 平成29年度研究会スタート
	5月	平成29年度第1回基礎知識研修会
	6月	第14回定時社員総会（平成28年度事業報告・平成28年度収支報告） 平成29年度研究会活動計画発表会
第2四半期	7月	第14回医療保険制度ゼミナール
	8月	
	9月	第15回医療保険制度ゼミナール
第3四半期	10月	平成29年度第2回基礎知識研修会
	11月	第6回保険者機能推進全国大会（11月27日）
	12月	第16回医療保険制度ゼミナール
第4四半期	1月	
	2月	
	3月	第15回定時社員総会（平成30年度事業計画・予算案） 平成29年度研究会活動報告会

上記に記載された行事の実際の実施月日の決定は理事会に委任する。

# 収 支 予 算 書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	平成29年度 予 算 額	平成28年度 変 更 予 算 額	増 減	平成28年度 決 算 見 込	備 考
I 事業活動収入					
1. 会費収入	13,470,000	13,093,000	377,000	13,093,000	年会費は据え置き
2. 一般事業収入					
臨時会費(総会)	720,000	660,000	60,000	660,000	
臨時会費(事業)	1,470,000	2,370,000	△ 900,000	2,367,400	
3. 受取利息収入		0	0	1,077	
4. 前受会費収入				△ 192,395	
事業活動収入計	15,660,000	16,123,000	△ 463,000	15,929,082	
II 事業活動支出					
1. 一般事業費支出					
総会費	720,000	660,000	60,000	651,000	
事業費	3,760,000	4,100,000	△ 340,000	4,046,182	
一般事業費支出計	4,480,000	4,760,000	△ 280,000	4,697,182	
2. 管理費支出					
給与手当	4,300,000	5,700,000	△ 1,400,000	5,700,000	
業務委託費	800,000	0	800,000	0	
システム管理費	1,212,800	764,640	448,160	706,320	旧科目名:HP管理費
システム改善費	200,000	162,000	38,000	162,000	旧科目名:HP改善費
会議費	40,000	40,000	0	38,024	
交通費	20,000	20,000	0	19,043	
通信運搬費	300,000	300,000	0	269,932	
事務費	260,000	200,000	60,000	253,350	
印刷費	250,000	200,000	50,000	237,477	
水道光熱費	400,000	400,000	0	355,528	
レンタル費	350,000	350,000	0	280,584	
事務所家賃	3,078,000	2,640,000	438,000	2,632,500	
租税公課	50,000	40,000	10,000	47,400	
雑費	200,000	200,000	0	166,725	
管理費支出計	11,460,800	11,016,640	444,160	10,868,883	
事業活動支出計	15,940,800	15,776,640	164,160	15,566,065	
事業活動収支差額	△ 280,800	346,360	△ 627,160	363,017	
III 前受会費取り崩し	0	0	0	87,605	
IV 予備費支出	1,000,000	308,000	692,000	0	
V 法人税等支出	70,000	70,000	0	70,000	
当期収支差額	△ 1,350,800	△ 31,640	△ 1,319,160	205,412	
前期繰越収支差額	4,932,830	4,727,418	205,412	4,727,418	
次期繰越収支差額	3,582,030	4,695,778	△ 1,113,748	4,932,830	

収支予算の内訳

科目	平成29年度 予算額	平成28年度 予算額	平成29年度予算算出の基礎				
I 事業活動収入			会員数(平成29年3月31日予想)				
1. 会費収入	13,470,000	13,093,000	規模区分	会費	該当会員数	会費収入	
			1	110,000	24	2,640,000	
			2	130,000	18	2,340,000	
			3	150,000	16	2,400,000	
			4	170,000	20	3,400,000	
			5	190,000	13	2,470,000	
			準会員	110,000	2	220,000	
			合計		93	13,470,000	
2. 一般事業収入			定時総会	懇親会費	参加人数	会費収入	
臨時会費(総会)	720,000	660,000	決算総会	6,000	60	360,000	
			予算総会	6,000	60	360,000	
						720,000	
臨時会費(事業)	1,470,000	2,370,000	第6回全国大会				
				会費	参加人数	会費収入	
			一般	大会	3,000	130	390,000
				懇親会	6,000	50	300,000
			会員	大会	2,000	150	300,000
				懇親会	6,000	80	480,000
			*懇親会は研究会無料招待枠60名分を差引済				
						1,470,000	
3. 雑収入			●総会費は全額臨時会費収入にて負担				
事業活動収入計	15,660,000	16,123,000	●事業費への予算充当				
II 事業活動支出			基礎知識研修会(2回)	200,000	講師謝礼等		
1. 一般事業費支出			全国大会	講師謝礼	300,000		
総会費	720,000	660,000		交通費・宿泊費	100,000		
事業費	3,760,000	4,100,000		ホール・会議室5	250,000		
一般事業費支出計	4,480,000	4,760,000		備品一式	150,000		
2. 管理費支出				パンフレット	100,000		
給与手当	4,300,000	5,700,000		パンフレット郵送料	120,000		
業務委託費	800,000	0		当日プログラム	450,000		
システム管理費	1,212,800	764,640		研究会参加者補填	360,000	60名	
システム改善費	200,000	162,000		その他	50,000	1,880,000	
会議費	40,000	40,000					
交通費	20,000	20,000		医療保険制度ゼミナール	300,000	講師謝礼等	
通信運搬費	300,000	300,000					



科 目	平成29年度 予 算 額	平成28年度 予 算 額	平成29年度予算算出の基礎		
事務費	260,000	200,000			
印刷費	250,000	200,000	研究会事業費枠		
水道光熱費	400,000	400,000	平等割	300,000	
レンタル費	350,000	350,000	人数割	300,000	600,000
事務所家賃	3,078,000	2,640,000	合 計	2,980,000	
租税公課	50,000	40,000	給与手当	事務局委託費	4,300,000
雑費	200,000	200,000	業務委託費	事務局サポート	800,000
管理費支出計	11,460,800	11,016,640	システム管理費	IT費用	500,000
事業活動支出計	15,940,800	15,776,640	(旧HP管理費)	ホームページ	712,800
事業活動収支差額	△ 280,800	346,360	1,212,800		
Ⅲ 予備費支出	1,000,000	308,000	予備費計上の主たる目的		
Ⅳ 法人税等支出	70,000	70,000	・会費収入減少／支出増加等への備え		
当期収支差額	△ 1,350,800	△ 31,640	1,000,000		
前期繰越収支差額	4,932,830	4,727,418			
次期繰越収支差額	3,582,030	4,695,778			